

「応援する気持ち」

おはようございます。20日の火曜日、多摩川で持久走大会が開かれました。おうちの人たちもたくさん見に来てくださいました。

みなさんが走っているとき周りから「がんばれ、がんばれ」という声が聞こえてきたと思います。この言葉は、「一番になってね。」という意味だけではありません。「つらくてもあきらめないでね。」「自分のペースで、最後まで走り切ってね。」という応援の気持ちがこもった言葉です。

先週、「こころ」は、見えないけど「こころづかい」は見えるという宮沢章二さんの詩を読みました。

応援することも同じです。応援は、心の中にしまっておくと相手には、伝わりません。でも「がんばれ、がんばれ」と声に出すとやさしい気持ちが伝わります。そして、聞いた方も元気や勇気をもらうことができます。応援は、人の心を強くする力があります。

持久走の当日は、風が強く、とても寒い日でした。それでもみなさんは、最後までよく走り切りました。皆さん、貴重な経験をしましたね。

この経験は、きっとこれからの学校生活でも役に立ちます。難しいことやくじけそんなことがあっても、この持久走の経験を思い出してください。学校の先生たちは、みなさんをいつも応援しています。「がんばれ、がんばれ」